

# プロジェクト科目 議事録

2006年 7月 16日提出

プロジェクト科目 テーマ名 小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 B	学生 ID -
日時	2006年 7月 14日(金) 15:00~20:00
場所	寧静館501
議題	企画書の検討 15日以降のスケジュール調整
参加者	A、B、C、D、E、F、G、H、TA、紙芝居読み手2 ※読み手…紙芝居・展示両ブースの案内役 ゲスト 観世流能楽師 a
記録	<p>&lt;配布物&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・体験ブース 企画書</li><li>・『賀茂(加茂)』事前学習用プリント</li><li>・展示ブース 装束・面説明原稿と能面基礎知識プリント</li><li>・紙芝居ブース 企画書</li><li>・『羽衣』保護者向けプリント</li><li>・事前学習プリント(草案)「能ってなあに？」</li><li>・マスコミに送るプレス原稿の企画書</li></ul> <p>——最初に T から読み手2の紹介があり、仕事内容の簡単な説明があったあと、Tは田辺校地のプロジェクト科目成果報告会出席のため退出される。</p> <p>その後、企画書の検討を始めようとした時、予定より早く観世流能楽師aが来られたので、急遽観世流能楽師aに対する各ブースの企画内容の説明から始める。</p> <p>※なお、以下の記述の中で、○～は「観世流能楽師aからの意見等」、*～は「備考または対応」とする。</p> <p>① 展示ブースの説明(Dより)</p> <p>&lt;企画内容&gt;</p>

・装束自体やその歴史についての説明を分かりやすく原稿に書き、読み手に説明してもらおう。

・長絹を衣桁<sup>ちゆうけん いこう</sup>で立てた横に、案内板(小学校に借りる)を立て、そこに長絹の名、いつの時代のものか、観世流能楽師 a 所蔵であること、一般的な長絹の説明等を記載する。

○細かくしなくても、大体の説明だけで良い。

○(どの点を強調するべきかDに尋ねられ、)長絹の意味、扱うことの大変さ等を強調すれば良いのではないか。

\* パネルが何枚必要なのかは現時点ではわからないとの報告を受け、Aが18日提出予定の企画書に載せるよう担当者に求める。

・着付けの様子を絵に描いてパネルにし、展示する。

○資料としてあげた『演目別にみる能装束』(観世喜正・正田夏子/著 淡交社)のP80-P81は、長絹ではないので、別資料が必要である。

\* これを受けて、DがTAに借りた資料を提示すると、長絹が載っており、縫箔<sup>ぬいほく</sup>が紅入<sup>いろいり</sup>であったので、カラーにするかモノクロにするかは未定であると伝えた。

○絵はモノクロの方が簡単なので良いのではないか。

・『羽衣』の写真をパネルにして展示する。

\* 展示用の大きな写真を1枚、観世流能楽師 a に持ってきていただくが、長絹ではなく舞衣<sup>まいぎぬ</sup>であったため、『羽衣』の舞台の様子を写した普通サイズの写真数点をお借りする。予算と相談しながら、引き伸ばし方法を検討することになる。

#### <その他>

・Dが衣桁に2mの竿をくくりつけることで、衣桁の手配ができるようになったと報告した。

・観世流能楽師 a に面の展示用備品をお借りできるか再度尋ね、OKをいただく。備品の高さは170~180cmくらいで、のせる台などは必要ないことも確認する。

・装束等の展示には能プロから1人監視役を置く。

・各ブースの実施場所を確認し、観世流能楽師 a から了承をいただく。

☆ 以上の説明を受けて、観世流能楽師 a に正式に装束と面を貸していただけることが決定する。

#### ② 体験ブースの説明(Eより)

・発表の際の人数構成について、観世流能楽師 a より変更の提案がある。

○1回の発表に出演する太鼓の人数を6人から3人に減らし、発表を2回行うのは話だけにしてはどうか。

○1回の発表で舞を舞う人数(6人)の変更はないが、舞を体験する児童にはシテとし

ての謡も少しずつ担当させたい。よって、残りの6人もシテとして謡に参加させなければ謡が止まってしまうので、舞を舞っていない残りの6人も舞台の後ろで待機させることが必要である。

\*このことに関しては、教える段階で更に負担がかかるので、金剛流能楽師 a にも確認しなければならない。よって、観世流能楽師 a と金剛流能楽師 a で話し合っていたくことになる。

・『賀茂（加茂）』のプリント、事前学習プリント(草案)「能ってなあに？」を確認してもらう。

○プリントの内容についてはおおむね良いが、1点だけ、文章中の「げき」表記について、能楽は「芸能」であって「劇」ではないので、変更がある。

\*このことを受けて、『賀茂（加茂）』プリントの「げき」表記と事前学習プリント(草案)内の「げき」表記を「えんげき」に変更し、『賀茂（加茂）』プリントの枠外の「げき」表記を「能のおはなし」に変更することになる。

○『賀茂（加茂）』プリントの下から2行目、「かみなりをならずおはなし」の部分で、誤読を避けるために「かみなりを」のところで読点を入れた方がいい。

・Gより、事前学習プリントの能についての説明をどうすればいいか相談がある。

G) 通常の能楽教室では多少難しい説明をしてもその後本物を見ることができると、それが能であると児童は認識できるが、今回は事前学習プリントなので、それができない。どう書けばいいだろうか？

観世流能楽師 a) (体験の前に話すのはどうかという意見を受けて、)体験はそれだけで時間がぎりぎりなので、そこまでやるのは無理。このままの表記(詳しくは事前学習プリント(草案)参照)でいいだろう。

\*このとき、事前学習プリント内に「能とは」の説明を詳しく入れる(能は650年の歴史を持つ「芸能」である等)ことがDより提案されたが、文章では児童は理解できないし、あまり説明が長くなるのは好ましくないとの観世流能楽師 a の意見から、却下される。

### ③ 紙芝居ブースの説明(Bより)

・企画内容について簡単に説明する。また、Dのデジカメにとった紙芝居を観世流能楽師 a に確認していただく。

・『羽衣』保護者向けプリントについても確認していただく。

○あらすじに関してはこのままでいい。でも、保護者向けならば、「東遊」等難しい語句を入れて、「ご存じですか？」と投げかけてみてもいいのではないかと。ただ、それを質問されると対応に困るかもしれない。「東遊」は昔から「東遊」と言うものだから。自分でも説明がむずかしいので、やめておく。

\* B、対応を考える。

#### ④ 観世流能楽師 a より 連絡・確認事項

##### ・太鼓について

\* 太鼓は全部で6張用意できることになった。うち5張は能楽協会から、残りの1張は囃し方(太鼓)が私物を持ってきてくださり、児童に使わせる(囃し方(太鼓)自身は太鼓を使わない)。

##### ・準備物について

○バミリ(位置確認)用テープ3色が必要である。お弁当は用意されるのか？

\* テープは用意する。昼食については小学校で用意されるお弁当を人数分用意する予定であることを伝える。

##### ・当日の入り時刻について

\* 一番早くて9時(Dが小学校側に確認する)を予定していると伝えるが、この時点で正確な時間は伝えられなかった。

##### ・能楽師さんの控え室について

○(能プロではアリーナ(体育館)の横の部屋を着替え室として予定しているとの報告を受けて、)アリーナの横はあけておいたほうが良い。着替えるのは始まる前なので、和室でもいいのではないかな。

\* 能プロメンバー、協力者の控え室をまとめて学習室にする予定であったが、それを別の部屋に変更して、学習室を能楽師さん用にしてもいいのではとBから提案がある。しかし、結局この時には決まらなかった。実際にどの教室が使用できるのか、要確認である。

##### ・当日について

○車は2台。囃し方(太鼓)は電車もしくは途中で観世流能楽師bがピックアップする。おそらく能楽師はまちまちに来校するが、そのときの対応は？

\* D、小学校側に確認することになる。

##### ・謡のプリントについて

○舞の児童にもどの詞章とどの動きが対応するのか知ってもらうために、詞章プリントは必要である。また、シテの謡も教えたいので、事前にプリントに線を引くなどしたい。なので、全員分のプリント60枚のうち、舞を体験する人数分の24枚を当日事前に渡してもらいたい。

\* A、原稿を受け取り、了承する。

——ここで観世流能楽師a退室する。

## ⑤ 読み手2に対する説明(紙芝居ブース：Bより、展示ブース：Dより)

### ●紙芝居ブースについて

#### <説明>

- ・企画書に記載してある実施方法を大まかに説明した。イメージは「子ども向け教育番組のお姉さん」である。
- ・渡した『羽衣』原稿は物語を追っただけのもので、児童と対話する原稿はT(TAが元を作って、Tがチェックする)のものを待っている状況である。稽古中に変更になることもあるだろう。
- ・読み手は声での演技が主で、動作で示す(例：舞を舞う)必要はない。
- ・全部で2回出番がある。

#### <稽古日程>

- ・Tの予定優先で、18日(火)の午後、21日(金)が予定されている。  
読み手2) 舞台の稽古が始まっているので稽古の予定との兼ね合いが難しい。  
\*日程の調整は土日間に読み手1の予定も聞き、調整することに決める。ただ、読み手1も多忙を極めていられるらしく、最悪の場合、読み手補助とのペアが揃えば良いことになる。

#### <当日>

- ・衣装については、まだ決まっていないが、Tのイメージとしては、「能に詳しい姉(読み手2)と妹(読み手1)」である。  
\*読み手2からの提案としては、「浴衣」があげられたが、これからの稽古等の様子を見つつ決定することになる。
- ・入り時間について、まだ決まっていないが、1番早くて9時である。  
読み手2) 手伝いが必要なら早く行く。直前の稽古の時間は必要だ。  
\*手伝いはありがたいが、疲れてはいけけないので、10時に来てもらうことにする。

#### <その他>

- ・台詞はすべて覚えてもらうことが前提だが、救済策(例：紙芝居の横に文章を貼る等)を講じることも検討する。
- ・TAがプリントアウトしてきてくれていた紙芝居の画像を見ていただく。
- ・読み手と解説者の組み合わせが「読み手1×T」「読み手2×TA」に決定する。

### ●展示ブースについて

- B) 展示の説明までやってもらうのは負担が大きすぎると思うので、展示の監視役が説明すればいいのではないかな?
- D) 説明役を統一することでマスコットの存在になってもらった方が良い。展示についての説明文の内容は分かりやすく、簡単なものだし、それをパネルに記載するか、何か考える。

B) それなら手に持つ形にしてもいいのでは。

\* よって、説明文は読み手に覚えてもらうのではなく、カンペを何らかの形で用意することになる。

\* 説明してほしい長絹の着付け絵パネルは18日にDが完成させて持参し、説明する。

——ここで休憩を入れる。読み手2退室する。

## ⑥ 広報について

Fがプレスリリースのための企画書を持参した。

B) 現時点で企画書を持ってきているようでは遅い。会議で話し合う時間はない。

G) 原案を持参するということになっていたはず。

A) 原案を作成し、リーダー、T、TAに送ること。

## ⑦ その他

・ 展示ブースの企画書の遅れについて

A) 18日に小学校に提出するための全体の企画書を作成しなければならないので、至急企画書を作成すること。

\* Hが担当することになる。期限は15日(土)。

\* その後16日(日)全体の企画書をまとめ(担当者決まらず)、リーダー、T、TA監修のもと、18日(火)までに完成させる。

・ 展示する写真について

\* 写真はお借りした数点の中から、長絹を着ていない写真、アップの写真、舞を舞っている写真の3点を使うことになる。(うち舞を舞っている写真については数点あり、未定)

\* 引き伸ばし方法は、写真屋で引き伸ばしてもらうか、メディア工房で加工(分割して印刷し、貼りあわせる等)するか、2択になる。予算、時間、技術等の面から検討し、後日決定することになる。

\* 写真屋に価格の確認を行うのはHに決まる。

——この流れを受けて

B) 会計は、予算の報告書をそろそろ出してもらわないと困る。至急作成してMLでまわしてほしい。そうでないと、いくら使えるのかが分からない。

## ⑧ 今後のスケジュール

15日(土) 中間報告会

16日(日) } 金剛能楽堂 装束展示

17日(月) } 9:00~17:00 ※解説は11:00/15:00

☆メンバーは16日(日)11:00に行くことに。10:45集合

18日(火) 12:00 寒梅館集合でミーティング(参加可能者のみ)  
小学校に企画書説明に行く。(16:30頃)…A、C、E、G、H  
紙芝居稽古(午後から 詳細な時間は未定)…B、D

——ここでC、E、G退室

### ⑨ 当日の役割分担

太鼓 }  
舞 } C、E、G  
謡 }

紙芝居…T、TA、読み手1・2

展示…H

マスコミ(兼フリー)…F

司会兼フリー } D  
フリー } B

統括…A

——会議はここで終わり、その後は雑談をしながら扇に紙テープを巻く作業に没頭し、80本巻き  
終えて解散する。

<これからのタスク>(Bによる補足)

- ・15日以降の詳細なスケジュール作成
- ・当日必要なものの作成または手配
- ・当日協力者に対する説明会
- ・当日のタイムスケジュール作成(リーダー、サブ担当)
- ・控え室の確認